

研修活動最終レポート（2015年11月）

水島悠記アウレリオ（南米ボリビア多民族国）

9月28日に来日し、あっという間に2ヶ月がたちました。日本の関西空港での事、お手洗いに行けばすぐに和式トイレを見て、日本に着いた実感がしました。関西空港から岡山までのバスの中ではわくわく感と不安もあり、岡山県はどんな所だろう、良い印象を残せるだろうかと緊張気味で岡山駅西口に着き、どうしようと迷っていた時に心優しい野本さんと藤田さんに出迎えてもらい、ほっとしました。

オリエンテーションもすごくわかりやすく、日本に居る、来た親戚や友達に聞いた話と同じ事だったのですぐになれました。外国に住んでいますが、日本人のマナーを大切にするのが日系人の使命である事を心がけている自分は、日本での生活にすぐ適応できたと思います。その中、日本での生活はとても便利で安全であり、自転車で移動する際、交通安全性は他の国と比べるととても安心してどこでも行けます。電車や新幹線の時間が守られるのもびっくりするぐらいで、駅の情報局の方もとても親切でとても楽だと思えます。

食べ物に関してはとても美味しく、何を食べるかいつも迷います。冷凍食品やインスタントラーメンの美味しさにびっくりです。スーパーでの日替わりや夜の割引を狙いで毎回得する感じです。ボリビアでは普通では食べられないお菓子、シーフード、果物、野菜、高級肉やいろいろ食べてみたい物がとても美味しいです。特に日本で初めて行った焼き鳥屋「とりの里」の美味しさは言葉に出せない美味しさ、そしてオーナーの木村家にとってもお世話になりました。毎日食べに行きたいほど僕がおすすめする店です。

日本でのお店の客に対する接客にとっても感動、ボリビアで生まれ育った自分は逆に店員さんに申し訳ない気持ちが少しします。でもそこがさすが日本と感じ、店内での居心地が良い。どの店に行っても、お金を余計にだまされて使わないのがとても安心します。

県の方々に **RYOTEI** で歓迎会をしてもらい、施設が豪華、綺麗な空間や雰囲気や和食がとても美味しくてさすが日本だと思い、日本だとやはり日本酒は飲まないといけない飲み物だと思い、本当にあんなに美味しいお酒がある事を知って、ついつ

い張り切りすぎてお酒に強いと自信がありましたが、日本酒を甘く見すぎ二日酔いにあれだけ苦労したのが初めてで、これから日本酒は遠慮する事にします。

日本語研修についての最初の2週間ほどの日本語授業でいろんな先生を知る事ができ、ワン・ツー・ワンで日本語勉強での色々知らなかった深み、意見交換、現在社会、日本文化、書道、俳句、諺、敬語、歴史を学びこれからもっと日本語を大切に行かなければならない、社会貢献できるのも教育が良い手段だと思いました。

日本ついて間もなく、祖父母の故郷に興味がとてもある自分なので岡山県津山市に親戚挨拶に行き、祖父母が住んでいた町を案内してもらい、とても何か不思議なおだやかな気持ちになりました。田舎がとても好きで、ボリビアの実家に戻った感じでもあった。祖母の姉に出会って、祖母そっくりでもあるせいなのか日本に居る事を忘れるぐらい落ち着く場所でした。親戚と一緒にご飯を食べたり、いろいろお話をしたり、昔の写真を見たり、楽しい時間をすごせてとても岡山の事が好きになり、やはり先祖のルーツを大切にするのが僕の使命だと決心しました。おばちゃん（祖母の姉）の松茸、栗料理、秋刀魚の炭焼きを食べたときは涙が出るぐらいの事でした。栗狩りや畑仕事も手伝い何故か今まで時間が過ぎるのが一番早いと感じ、表現、説明できない不思議な感覚でした。

ボリビア紹介プレゼンテーションを国際交流センターで行い、その為に野本さんが色々PR や準備をしてくれ、自分の地元の事を話せる機会を与えてくれた事とても嬉しかったです。そして忙しい中、来て下さった人達に心から感謝申し上げます。本当に日本では日系人が世界中に居る事の具体的な情報があまりないと聞いており、ましてボリビアなんか国すら知らない人が多い中、今はウユニ塩湖の事が日本中に知られ始めていますが何故か日系人移住地の事が知られてない事実が悲しいと思っていました。それで、自分自身で日本の方に一人でも多く日系人移住地の存在を伝える事ができる事にとっても光栄でした。

ボリビアに来られた元議員の戸室さんに招待され、祖父母と同じ出身の津山市で2日間お世話になりました。初日は駅まで出迎えてもらい、日本での初めてのくるくる寿司に連れて行ってもらいすごく面白い思い出になりました。その後、鳥取県の砂丘まで行き初めて日本海を眺める事ができました。ラクダも居たのがすごかったです。帰り道に温泉に寄り、これも初めての体験で、よく話で聞いた情報“日本で温泉に入る時は全裸”が頭に浮かんで来て、とうとうこの体験が来たと恥ずかしい

思いをしましたが、日本文化や習慣を体験できる事に興味がある為、すぐになれました。晩御飯に豪華なすき焼きを食べ、ハイボールをはじめ飲み、コタツにも入って本当に始めての事が多い日になりとても楽しかったです。次の日には津山城や数々の観光地に連れて行ってもらい、お昼には津山市市長と議員挨拶に伺い新聞まで載せてもらい、とてもいい経験をさせてもらいました。最後までとても親切な戸室ご夫婦に大変お世話になりました。

岡山産業労働部産業振興財団の活動の説明をしてもらい、企業見学でフジワラテクノアート、OVEC、サンラヴィアンでお世話になり、岡山空港と岡山大学まで拝見させてもらい、いい勉強になりました。

真庭の湯原温泉旅館-八景での見学では女将さんの地域発展の話にととても感動し、地方の旅館と連携で地方発展につながるという考えがとても素晴らしい事だと思いました。そして次の世代にバトンタッチの事も考えており、小さい頃から育てているとの事。自分が考えていた事が日本の地方でもそう考えて居るのがとてもうれしかったです。励ましの言葉もいただき、お互いがんばろうと思いました。

サウスヴィラとうなぎ養殖の方でも担当者とお話したり意見交換ができとてもいい刺激を受けました。ボリビアでもあらゆる可能性やチャンスがある事に気付かされました。サウスヴィラのような一般の方が色々農家体験ができ、家族といい時間をすごせる設備もとてもいい所だと思います。全ての見学に行かせてもらった所の一つ一つその場所で何かを得られたことを実感し、とても参考にでき自分にとって大切な経験でした。

今の日本は変わったとよく聞く、実際それがどの様に変ったのかが良くわからなかった。僕にとってボリビアと比べるのはあまり好まないが、まだまだ日本は良い方だと思っています。その中、一つだけわけわからなかったのが、何故若者が電車の中で座っていて、年配の人が乗って来ても座る場所をゆずらないのか。それは優先席がその為にあるとかの思いかもと考えながら僕は座る場所をゆずれずにはいられない。世界どこでも日本ほど人間関係の気を使いあう社会はしりませんが、そう言う環境でなぜそんな事になったのか。つつい若者のせいにしていました。だが、本当にそれが納得いかず聞いてみた所、それは若者だけのせいではなく年配の人もゆずられたくない事情を聞いた時はなるほどと思った。それを知ったとたん、僕が広島に行った際の事を思い出し、電車に乗って座席をゆずろうとしたら、なん

か逆に驚かれ、かなり積極的に言わなかったら座らないだろう思い、僕は「日系研修生です、自分はゆずらずにはられません」と言ったらわかってくれて、座ってもらいました。その分、なんだかおぼちゃん達に気に入られて色々話を聞かれ、お菓子ももらい、広島のお観光情報を沢山もらいました。その時に、人それぞれ考えがある中、他の人がやらなくなった事でも自分が社会にとって正しい事と思っている事はやるべきだなと思います。

日本に居る間はできるだけ色々な所へ行きたい為、週末や祭日を利用して日本に行くなら京都、広島、沖縄、北海道優先で行くべきと聞いていたので、北海道に行けないのは残念ですが、旅行もできたのがとてもいい経験になりました。

広島には、一人よりかみんなで行く方がいたので研修生達を誘い、ガイド役的存在になりましたのも楽しみの一つになり、最初に直ぐに原爆ドームへ行き驚きました。どうしたらあんなになるのかと不思議で考えながら、原爆史料館でその原爆の恐ろしさ、当時の日本の苦しみを知り言葉がでない悲しい思いをし、二度とこういう事が起こらないように願います。その後、広島名産のカキお好み焼きを食べ宮島に向かいました。宮島行きではフェリーに乗り、鹿と写真を撮り、観光情報を聞き、まずロープウェーで山頂に行く事になり紅葉を眺めながら広島の風景に感動し、原爆が落ちた日々が想像に浮かび恐怖を感じるのも普通であると思う。ロープウェー終点から展望台まで歩いて往復1時間を宮島まで来たのだから行かなければと思い、急いで行って見ました所、絶景にまた感動して行ってよかったと思います。帰りにもみじ饅頭を食べながら巖島神社と鳥居のライトアップを眺めました。次の日も朝早くから満水の巖島神社に行き、宮島の寺めぐりをして、鹿に観光地図を喰いちぎられた事もあり楽しい時間を過ごしました。その後、広島城、縮景園、マツダスタジアムに行き広島観光を終えました。

沖縄に興味があったのはやはりボリビアには沖縄の人だけの移住地があるからです。沖縄出身の多くの人達がなぜその様になったのか、日本の歴史も少し自分の目でみたくて、沖縄では海の景色観光やダイビングと言われているけど、僕は今民間で問題となっているアメリカ軍の基地を実際に見に行った。やはり日本人としてはなぜアメリカに広島と長崎に原爆を落とされながら、その上沖縄の人達が移住したままアメリカの軍の為には、その町があるのかがとても理解できません。それはともかく、戦争に負けたからだとかアメリカの基地とがあれば戦力として見えるのかだと思えますが。本当に悲しい事情だと思います。

紅葉の季節の京都の清水寺、金閣寺、三十三間堂や奈良大仏の東大寺と姫路城は日本の歴史に関わる物であり、とても印象に残っています。あと幼い頃からの夢であった甲子園球場も拝見できうれしいです。

月間研修生旅行での瀬戸大橋、備前、児島、国宝閑谷学校、後楽園にも連れて行ってもらいました。その中、備前焼の独特な特徴にとっても興味を持ち、岡山名物でもあり長く伝えられてきた知識に感動しました。

最後に、この二ヶ月間はとてもすべて学べた事が励みになり、これから先自分がどのようにボリビアに移住した一世の方々や特に祖父母とその祖父母の故郷である岡山県に恩返しできる答えがまとまった事に達成感を持っています。

帰国後、まず日本での色々見て学んだ事を生かし、地元のサンフアン日系人移住地のこれからあらゆる課題を乗り越え、特に若い世代のサポート的存在になり、新事業と選択肢を増やし地方中小企業発展や環境改善に貢献したいと考えています。その後もし成功した場合、その経験を生かしサンタクルス県、ボリビア国、さらに南米の日系社会をまとめ支えられる活動に強く取り組み日本との架け橋になれば良いなと夢を叶えるために日々頑張りたいと思っています。本当に多くの人達にお世話になり、初めて会った親戚、日本語の先生の方々、県庁の方々、企業の方々やとても家族のように親切にしてくれた人達のおかげでホームシックなど一切感じなくとても素晴らしい一生の思い出の日々を送れました。この機会を与えてくれた担当者に感謝しています。これからもお世話になった人達との関係を忘れず大切にしていって、いつかこの研修の結果を証明できるように頑張りたいと思っています。

以上